東京エレクトロン デバイス株式会社
本社：〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地4　横浜イーストスクエア
Tel.045-443-4000（代表）　https://www.teldevice.co.jp

VEGETABLE OIL INK

※本パンフレットに記載された会社名または商品名、サービス名は各社の登録商標です。

June 2024

東京エレクトロン デバイス

新たな技術で、社会は変わる。
もっと快適でスマートな未来へ。

新たな技術で、社会は変わる。社会が変われば、暮らしや働き方が変わる。

医療や介護、製造業、農業、交通、防災など、あらゆる分野において

必要な情報を最適な形で活用できる、「人」を中心とした快適でスマートな未来へ。

東京エレクトロンデバイスは、来たるべき高効率スマート社会「Society5.0」に向けて

進化と挑戦を続け、お客さまと共に新たな価値を生み出していきます。

Connect Beyond

共に創る 新たな価値を

「Connect Beyond」は、ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、あらゆる既成概念を超えて、皆さまと共に新たな価値の創造に挑戦するという私たちの姿勢を表しています。

これまでの歩みの先に、高効率スマート社会の実現と発展があります。

EC事業をスタートし
基盤を構築

PB事業・CN事業を加え
事業領域を拡大

独自の戦略により
成長を加速

1965
東京エレクトロン株式会社で電子部品（フェアチャイルド社など）の販売を開始

1990
東京エレクトロン デバイス株式会社で電子部品の販売を開始（現 EC事業）

1998
東京エレクトロン株式会社から電子部品部門を全て譲受け

2003
東京証券取引所市場第二部に上場

2004
自社開発商品、設計受託サービスの提案を「inrevium」としてブランド化（現 PB事業）

inrevium

2006
東京エレクトロン株式会社よりコンピュータ・ネットワーク事業を承継し、販売を開始（現 CN事業）

2010
東京証券取引所市場第一部に指定

2015
中期経営計画
VISION2020
スタート

2017
株式会社アバール長崎を連結子会社化（現 東京エレクトロン デバイス長崎株式会社）

2018
株式会社ファーストを連結子会社化

2021
中期経営計画
VISION2025
スタート

中期経営計画
VISION 2025
私たちのミッション

DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

デジタルトランスフォーメーションを実現する製品およびサービスを提供し、高効率スマート社会の持続的発展に貢献する。

東京エレクトロンデバイスは、エレクトロニクス商社としてスタートし、お客さまの課題一つひとつに向き合いながら、メーカー機能である自社ブランド事業、ITソリューションを取り扱うコンピュータシステム関連事業と、事業領域を拡大してまいりました。
当社グループは、高効率スマート社会（Society5.0）の到来を見据え、デジタルトランスフォーメーションを実現する製品およびサービスを提供し、社会の持続的発展に貢献すると共に、企業価値向上に努めてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長・CEO　徳重 敦之

技術・製品・情報・サービスを融合し、最適なソリューションをご提案します。

コンピュータシステム関連事業

新規性・専門性の高いネットワークやストレージ、サーバーなどの機器や、最先端のセキュリティ製品を、保守・運用サービスと共に提供しています。

- セキュリティ製品
- ネットワーク・ストレージ関連製品

- 保守・運用サービス

自社ブランド事業

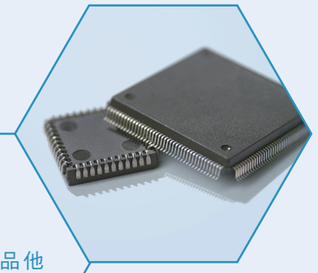
お客さまのニーズに応える設計・量産受託サービスの提供や、保有技術を活用した自社ブランド製品の開発を行っています。

- 自社ブランド製品
- 設計・量産受託サービス
- 株式会社ファースト
- 東京エレクトロンデバイス長崎株式会社

半導体及び電子デバイス事業

半導体や電子部品、ボード、ソフトウェアなどを技術サポートと共に提供し、お客さまの課題を解決します。

- クラウドAI・IoTソリューション
- 半導体・電子部品他



ご提案の流れ

1. お客さまそれぞれの目的や課題を共有。
2. 取り扱い製品をベースとした最適なソリューションを提案。
3. サービスの提供を通じてお客さまを継続的にサポート。
4. 課題を解決し、新たな価値を創造。

高効率スマート社会の実現に向けて、進化と挑戦を続けていきます。

技術商社として

技術進展の礎となる半導体やIT機器の販売に加え、新たなビジネスへの取り組みを通じ、技術商社としての進化を続けていきます。

メーカーとして

長年の設計開発の経験をもとに、自社保有技術を活用した製品・サービスの開発を推進し、モノづくりへの挑戦を続けていきます。

データビジネス

予知保全のためのデータ解析製品や、AI用ハードウェアなどの販売を推進。

モノづくりシステムメーカー

データサイエンス・画像処理・ロボティクスを駆使した製品、技術を提供。

サービスビジネス

ITセキュリティの運用監視など、プロフェッショナルサービスを提供。

DRIVING
DIGITAL
TRANSFORMATION

ODMメーカー

設計・量産受託サービスで培われた技術に基づきODM（Original Design Manufacturing）メーカーへ。

ストックビジネス

クラウドサービスの販売などを通してサブスクリプションビジネスを拡大。

設計開発部門・製造部門

設計開発においては開発力・提案力をさらに強化、製造においては高効率スマート工場を追求。

すべてがつながり合う、価値ある未来へ。

AI用ハードウェアによって高速な演算処理を行うことで、膨大な情報の中から、人や社会に有用な知識や価値を効率的に抽出します。

自立進化型セキュリティやサービスインフラは、AIを応用することで、サイバー空間で人や機械が生成する大量のデータを安全にやり取りします。

高効率なデータストレージおよびネットワークシステムでは、大量のデータを収集・蓄積すると共に、高速通信でサイバー空間とフィジカル空間を接続します。

自動運転システムがドライバーの認知・判断・運転の操作を担うと共に、人間の知覚を拡張した人車一体感をもたらす次世代自動車の実現へつなげます。

高度な協働型ロボットシステムでは、人の感情や心理を計測する技術を生かしたロボットが、人と深くコミュニケーションを取りながら作業を行います。

デジタルモノづくりに向けた革新的な計測システムで、製造現場で加工中のモノに対し、リアルタイムかつダイナミックに超精密3次元計測を行います。

次世代型製造システムでは、単品から大量生産まで、マスカスタマイゼーションに対応可能なオンデマンド製造技術を、短納期・省エネ・省コストで実現します。